

取扱説明書

《特記事項》

- (1) ご契約車両以外、駐車禁止です。ご契約車両を変更される場合は、必ず、月極駐車場サポートデスク（p-support@at-parking.jp）にご連絡をお願いします。

機械式駐車場には車両サイズの利用規定がございます。規定サイズを超える車両を駐車された場合、設備の緊急停止により、全車両の入出庫ができなくなるなど、重大な支障が生じるおそれがあります。この場合、代替交通機関利用料、機械修理費、緊急出動費その他これに伴い発生した一切の費用および損害については、お客様にご負担いただきますので、予めご了承ください。

ご連絡なく契約車両以外の車両を駐車された場合は、契約違反となり、契約を解除させていただきます場合がございます。予めご了承ください。

- (2) 鍵の使用があり、紛失等の際は、再発行費用が発生いたします。再発行には 1 週間程かかる場合がありますので、予めご了承ください。

■駐車場機械の不具合に関する連絡先

新明和パークテック 電話番号：0120-495-124（24 時間 365 日）

■月極契約に関する問い合わせ先（賃料、鍵の紛失等）

月極駐車場サポートデスク 電話番号：050-2018-3584（平日 9 時～18 時迄）

E メールアドレス：p-support@at-parking.jp

《注意事項》

初回の入庫について

ご契約後は現況有姿でのお引渡しとなります。リアオーバーハング、タイヤ幅、最低地上高等車検証には記載の無いサイズもあることから、使用するお車のサイズが駐車場のサイズ制限内かどうかは必ず現地にてご自身でご確認ください。

初回入庫時には事前にサイズを確認の上、十分注意をして入出庫をお願いいたします。試し入れ時や契約後に事故等が発生した場合、貸主及び管理会社並びに保証会社では一切の責任を負いかねます。

以上

美しい時代へ——東急グループ

とうきゅう立体駐車装置

東急ネオ・トパーク

取扱説明書

地上2段・地下1段／昇降・横行式（TPF型）

△ご注意

装置をご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき、記述された注意事項や操作手順などをよく守ってお使いください。

お読みになった後は、必要な時にいつでもご参照いただけるように、ご使用者が取り出しやすい場所に保管の上ご活用ください。

この駐車装置の使用契約を解約される際は、取扱説明書を次に使用される方にお渡しください。



美しい時代へ——豊かさを造り、未来を創る

東急パーキングシステムズ株式会社

はじめに

このたびは東急車輛製造(株)のとうきゅう立体駐車装置（東急ネオ・トーパーク）をご利用いただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書は、装置をご使用になる方、ならびに管理者の方が、装置の周辺の方々も含めて事故がなく、安全に快適にご利用いただくための注意事項や操作手順を解説したものです。

装置をご使用になる前によくお読みいただき、正しい使い方や安全上の注意事項等を十分にご理解されたうえで、装置をご愛用くださいますようお願いいたします。

ここに述べた内容に、もしご不明な点などがありましたら、巻末に示しました“お問い合わせ先”までご連絡ください。

この冊子の内容を許可なく無断で複製複写することを禁じます。

目 次

1. この冊子の利用方法	1 ページ
2. 安全にお使いいただくために	
2-1 クルマの制約	3 ページ
2-2 入庫・出庫時に守るべき事項	5 ページ
2-3 こんな時は操作できません	8 ページ
2-4 操作時の注意事項	9 ページ
2-5 非常事態(火災や地震)時の対応	10 ページ
2-6 その他の注意事項	11 ページ
3. 装置の構造	15 ページ
4. 運転操作方法	16 ページ
5. 保守点検	19 ページ
6. トラブル時の対応	20 ページ
お問い合わせ先	22 ページ

1 この冊子の利用方法

この冊子は、装置の取り扱いにあたって、守っていただくべき安全上の必要事項や、正しい操作方法を記述したものです。

装置をご使用になる前に、必ず注意深くお読みいただき、よくご理解のうえ、お使いください。

1

○安全上の遵守事項の区分とシンボルマーク

ここに記述する内容を無視した場合に予想される、安全面からの重要事項の区分とシンボルマークは、つぎの表示によります。

直接、人身事故に結びつく重要なもの



これを回避できなかった場合、死亡または重傷を負うに至るような切迫した危険状態を意味します



これを回避できなかった場合、死亡または重傷を負う恐れがある危険な状況を意味します



これを回避できなかった場合、軽傷または中程度の障害を負う恐れがある危険な状況を意味します

物損が発生する恐れがあるもの

注意

これを回避できなかった場合、クルマや駐車装置に故障や損害が発生する恐れがあります

装置を使用する際に守るべき内容と区分



禁 止

禁 止 やってはいけない《禁止》事項です



強制・禁止

強制・指示 必ず守る必要がある《強制》,《指示》事項です



注 意

注 意 気をつけていただく《注意》事項です

○装置の機種と取扱い説明

この取扱説明書は、とうきゅう立体駐車装置(東急ネオ・トーパーク)の
地上2段・地下1段 昇降・横行式 (TPF型)

について作成したものです。

15ページの「装置の構造」をご覧ください、装置を確認された後にこの取扱説明書にしたがって操作してください。

○取扱説明書の保管のお願い

この取扱説明書は、装置をご利用になる方が必要なときに、いつでも参照し、ご活用できるように場所を決めて保管してください。

もし、本書を無くされた場合には、装置管理者に請求して新しく取り寄せ、必ず本書に従った取り扱いができるようにしてください。

また、引越しなどご利用になる方が変わるような場合には、つぎにお使いになる方が、この取扱説明書を確実に読んでいただけるように、操作キーと一緒にお渡しいただくか、または、装置の管理者に引き継ぐようお願いいたします。

2 安全にお使いいただくために

安全に、安心してお使いいただくために、つぎのことを必ずお守りください。

2-1 クルマの制約

ご使用になるクルマと装置との相互関係から、つぎのことをお守りください。



危険

重量制限を超えるクルマの駐車禁止

重量制限を超えたクルマを駐車すると、チェーンが切れたり、パレットの落下や傾くことによるクルマの転落など、重大事故となる危険があり、死亡事故や致命的な怪我をする恐れがあります。

(注意のポイント！)

重量はクルマの全重量です。

車検証の車両重量を参考に、さらに荷物の重量等がプラスされます。

収容車制限シール（装置の前面または操作盤の近くに貼ってあります）に表示されている重量制限を超える場合には駐車をおやめください。



禁 止



注意

寸法制限をこえるサイズの駐車禁止

装置には、駐車できるクルマの寸法に制限があります。これらを超えて駐車すると、クルマが装置に接触して破損したり、装置の故障の原因となります。



注 意

駐車するクルマの寸法が、お使いになる装置の許容範囲内にあることを、装置に表示されている収容車制限シール（装置の前面または操作盤の近くに貼ってあります）で、確認してください。

(注意のポイント！)

- 全 長：装置への接触に注意
(クルマ止めとの関係で、前後に飛び出さないように)
- 全 幅：支柱への接触に注意
(特にドアミラーは折り畳んだ状態とします)
- 全 高：アンテナやルーフキャリアの高さに注意
(最低地上高やバンパーなどの改造車は特に注意が必要です)



注意

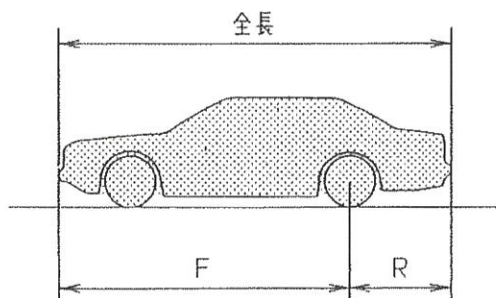
リア・オーバーハングなどの確認

クルマの全長が制限値以内であっても、駐車位置の制限を越えて駐車した状態で操作すると、クルマが装置の構造物や壁面などと接触して、クルマや装置・建物を傷つけることがあります。



強制・禁止

車体寸法が収容車制限シールの制限以内であってもR値、F値の関係で収容できない場合があります。
図に示すクルマの全長やR値（リア・オーバーハング：後輪の中心から車体の後端までの長さ）F値（フロント・オーバーハング：後輪の中心から車体の前端までの長さ）が装置に表示されている収容車制限シールに示されている許容範囲内にあることを、ご使用になる前にご確認ください。



クルマのR値またはF値が、示されている制限よりも長いと、クルマの後端や前端がパレットからはみ出した状態で駐車することになり、そのまま装置を操作するとクルマが装置に接触してしまいます。

クルマのカatalogなどに、R値やF値が示されていない場合は、後輪の中心からの長さを実測し、判断してください。クルマがパレットの内側に十分納まっていることが前提です。

注意

バックで入庫する

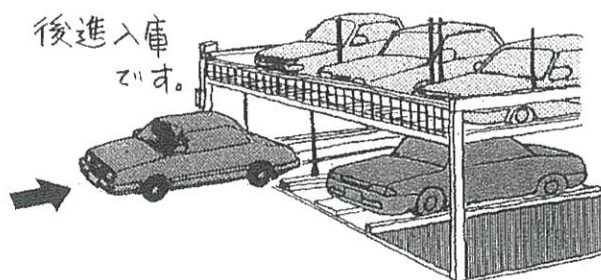
装置はバック（後進）入庫を前提とした設計です。
前進で入庫すると装置が破損する危険が生じ、クルマの落下といった思わぬ事故につながる恐れがあります。



強制・禁止

クルマの前進入庫は禁止です。後進入庫

です。



2-2 入庫・出庫時に守るべき事項

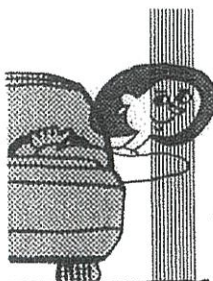
装置への入・出庫にあたっては、つぎのことを必ずお守りください。



危険

クルマの窓から頭や手を出さない

装置の支柱など構造物に頭や手をぶつけて、致命的な怪我をする恐れがあります。



危ない!

頭や手
を出さないで。

クルマの出し入れ時は、窓から頭や手を絶対に出さないでください。

また、扉を開けた状態でのバック入庫も危険です。



禁止



警告

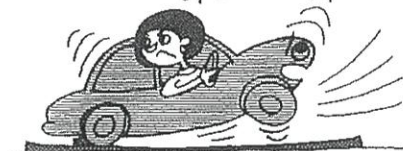
急停車、急発進は禁止

入出庫時に手荒い運転をされると、装置に衝撃を与えて故障の原因となったり、クルマが装置に接触して破損するなどの恐れがあります。



禁止

入出庫は
ゆっくりと。



パレット上では、時速5キロ以下の低速でゆっくりと運転してください。

狭くて見通しの悪い装置の周辺に注意されて、慎重に運転してください。



警告

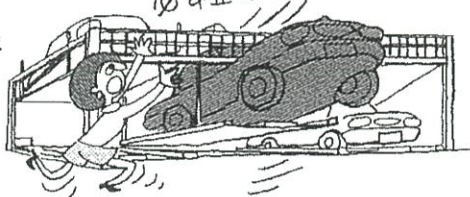
エンジンをかけたままでの駐車禁止

装置操作時のショックでクルマが暴走し落下する危険もあり、周囲の人に致命的な怪我を負わせる恐れがあります。



禁止

エンジンは
必ず止めて。



エンジンをかけたままでの装置の操作は禁止です。

必ずエンジンを切り、駐車ブレーキをかけた状態で操作してください。

**警告****駐車ブレーキを必ずかける**

装置の操作時にクルマが動きだしたり転落したりして、大事故につながる恐れがあります。

**強制・禁止**

入庫したら必ず駐車ブレーキをかけてください。

オートマチック車ではセレクトをP（パーキング位置）にしてください。

**警告****装置内に入る時は進入中ボタンを押してから**

後から来た方が、気づかずに装置を動かす事も考えられ、パレットに挟まれるなど重大事故につながる恐れがあります。

**強制・禁止**

装置の内へ入る時は、電源を入れ、必ず進入中ボタンを押し、進入中ランプが点灯しているのを確認してからお入りください。

進入中ランプが点灯中は他の動作（パレットの移動など）は出来ません。装置内から出られたら進入中ボタンを再び押してください。ランプが消灯します。

**警告****前面ゲートの動作中は中に入らない**

動作中のゲートに挟まれるなど、思わぬ怪我を負う危険があります。

**強制・禁止**

ゲートの動作中にはゲートの下に入らないでください。

**注意****運転者以外は立入り禁止**

狭くて障害物の多い装置内でのクルマへの乗り降りや歩行は、慣れない人には危険で思わぬ怪我をする恐れがあります。

**禁止**

装置の内への出入りは運転される方だけにし、同乗者の乗り降りや荷物の扱いは、必ず装置の外で行ってください。

装置の操作も運転者をご自分で、特に小さいお子さんが居る場合には、装置に近づくことのないように、必ず手を引いて操作をしてください。





注意

ドアを完全に閉めたことを確認

ドアが開いたままや、半ドアでの駐車は禁止です。
 ドアが不安定な状態のまま駐車すると、操作時のショックでドアが開いて隣の装置やクルマに接触するなど、クルマの破損や落下に至る恐れがあります。



強制・禁止

クルマの中の換気や清掃は、装置の外で行ってください。

他の方が装置を操作することも考えられ、きわめて危険です。

駐車したら必ずドアを閉じてください。

7



注意

足元と頭上に注意

装置内は突起物が多く天井も低いので、クルマへの乗り降りや歩行時に転んだり、頭をぶついたりして、怪我をする恐れがあります。



注意

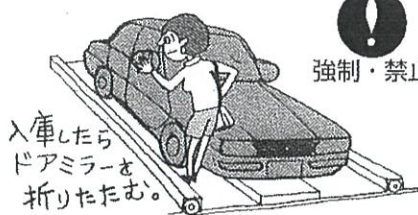
装置の中とパレットの上は突起物があって雨の日など滑りやすいので、歩行に気をつけてください。



注意

ドアミラーを折りたたむ・アンテナを降ろす

ドアミラーやアンテナが装置に接触して、クルマの破損や事故につながる恐れがあります。



強制・禁止

入出庫前後、パレットにクルマが収まっている間は、ドアミラーを折りたたみ、アンテナは降ろしてください。

ドアミラーを折りたためないクルマでは、ミラーが装置に接触しないようにパレットの中央に駐車し、斜めになったり片寄った駐車は入れ直してください。

注意

クルマがはみ出していないことの確認

クルマがはみ出したまま操作すると、クルマが装置に接触して破損や転落などの事故につながる恐れがあります。



強制・禁止

駐車してクルマを離れる前に、パレットの内側に十分納まっていることを確かめてください。

そのまま装置を操作しても、正常に動作できるかどうかの確認が大切です。

注意	乗入れ面の段差に注意
段差が大きすぎると、入出庫時にクルマや装置にショックを与えて、装置故障の原因となったり、クルマの底面をこすって破損する恐れがあります。	



パレットの乗入れ面と地上面との段差は使っているうちにずれてくることがあり、大き過ぎると（目安としては50ミリ以上）点検・調整が必要となりますので、装置の管理者がお客様センターに連絡してください。

2-3 こんな時は操作できません

操作にあたっての禁止事項です。つぎのことを必ずお守りください。

	装置内に人がいるときは操作禁止
装置の中や駐車したクルマの中に人がいる状態で装置を操作すると、不意な動作で装置に挟まれたりパレットから振り落とされるなど、致命的な怪我をする恐れがあります。	



装置内や、駐車しているクルマの中に人がいないことを確認してから操作してください。

	装置の間近かに人がいる時は操作禁止
操作中に周りの人や動物が飛び出したりすると、動いているパレットに当たったり装置に巻き込まれたりして、致命的な怪我をする恐れがあります。	





警告

雷雨時の操作は注意

雷雨時に装置を操作すると、落雷などによる感電事故を起こす恐れがあります。



禁止

落雷の危険があるような気象条件での操作はおやめください。

2-4 操作時の注意事項

装置の操作・運転にあたっては、つぎのことを必ずお守りください。



危険

操作方法を熟知した人以外は使用禁止

誤操作による装置の異常動作などにより、致命的な怪我を負わせる危険があります。

運転者
自身で
操作を。



強制・禁止

この取扱説明書の内容を十分に理解され、安全確認の義務をもったクルマの運転者ご自身が、周辺にも注意しながら操作してください。

万一、何かの異常に気がいたら非常停止ボタンを押して装置を停止させてください。

危険の判断が出来ないお子さんには絶対に操作させないようにしてください。



警告

異常時は即時停止を

操作中に何らかの異常が発生したら、すぐに装置を止めてください。そのまま使うと、思わぬ事故の発生などで周囲の人に致命的な怪我を負わせる恐れがあります。



強制・禁止

操作中は装置の動きに注意し、操作盤から離れないで下さい。

もし、異常な音や振動などの何らかの異常が見られたら、すぐに非常停止ボタンを押して装置を止めてください。

異常を感じて非常停止した後は、装置管理者に連絡し、その指示に従ってください。その間、装置を離れる場合は、ほかの人が装置に近づいたり操作が出来ないようにしてください。



警告

前面ゲートを閉めて操作

前面ゲートを閉めた状態で操作してください。
動作中にピットの開口部から誤って転落したり、装置に接触するなど、思わぬ怪我をする恐れがあります。



強制・禁止

ゲートの動作中は、ご自身や周囲の人がゲートに接触しないように注意して操作してください。



警告

ゲートが閉まらない時は装置内へ立入禁止

ゲートが下降しない、又は動作途中で停止した場合にはゲート下に入らないでください。突然ゲートが下がって人やクルマに致命的な損傷を負わせる恐れがあります。



強制・禁止

ゲートが下降しなかったり、途中で停止してしまった時は、そのままの状態では装置管理者かお客様センターに連絡し、その指示に従ってください。



警告

操作終了後はキーを抜く

いたずらの防止や事故の防止のために、キーは必ず抜いてください。



注意

キーは、危険の判断が出来ないお子さんや他の人が持ち出せない場所に保管してください。

2-5 非常事態（火災・地震）時の対応

安全管理、ならびにクルマと装置の保護のために、つぎの非常事態の対応をよくお読みになり、あらかじめご理解ください。



警告

火気厳禁

装置の中や近くで火のついたタバコを吸ったり、吸殻を捨てたりすると、クルマのガソリンなどに引火して、火災が発生する危険があります。



禁止

装置内とその近くは火気厳禁です。



**警告****出火時は装置を動かさない**

万一、火が出たら、クルマのガソリンへの引火などで一気に広がる恐れがあり、思わぬ火傷をする危険があります。



強制・禁止

万一出火したら、まずご自身の安全を第一に考えて、装置を止めて避難してください。そのうえで消火や通報の処置をとってください。

消火したあと、すぐに装置を動かすと再発火したりクルマの転落などの恐れもあり、きわめて危険です。

そのままの状態でお客様センターに連絡し、指示に従ってください。

**注意****地震時の対応**

装置を使用中に、強い地震（震度5相当以上）が発生した場合には、クルマの落下などで怪我をする危険があります。装置を止めて安全な場所に避難してください。



強制・禁止

強い地震の後、そのままの状態でお客様センターに連絡し、指示に従ってください。

**注意****異常降雨時の対応**

ピットには排水設備が設けてありますが、異常降雨などで周りから排水能力を上回るような水が流れ込むと、ピットの冠水が予想され、クルマや装置に損害を与える恐れがあり、また、感電の危険もあります。



注 意

異常降雨などによって装置の冠水が予想されるときは、事前にピット内のクルマを地上に退避させてください。

いったん冠水した装置をそのまますぐに操作したり、ピットの中に入ることは絶対におやめください。そのままの状態でお客様センターに連絡し、指示に従ってください。

2-6 その他の注意事項

安全上の問題や故障がなくても、装置を安心して使っていただくために、つぎのことも必ずお守りください。

**危険****ピット内への立入禁止**

ピット内に人が居ることを知らずに他の方が装置を操作すると、パレットの下敷きになったりチェーンに巻き込まれるなど、死亡事故や致命的な怪我につながる恐れがあります。



禁 止

利用者の方は、ピット内には絶対に入らないでください。

ピットの中に誤って物を落としたような場合でも、必ず装置管理者かお客様センターに連絡し、取ってもらってください。





警告

利用者による修理・点検、改造の禁止

機械の調整や電氣的修理などはしないでください。
装置が異常な動作をしたり、致命的な怪我に結びつく恐れもあります。



禁止

利用者ご自身による装置の点検や修理は危険です。不具合が生じたら必ずお客様センターに連絡し、指示に従ってください。



警告

駐車以外の目的のための利用禁止

装置内でクルマの点検や洗車をしたり、クルマに乗ったままの待機など、駐車以外の目的のために利用すると、他の方が知らずに操作して、装置に挟まれたり、転落するなどの危険があります。



禁止



警告

電気関連機器に触れないこと

装置の制御盤などの機器を開けたり、触れたりすると感電する恐れがあり危険です。



禁止

操作に直接関係がない機器には、絶対に手を触れないでください。



警告

乗用車以外の車両の駐車禁止

不安定な2輪車などを置くと、装置の動作中に転倒したり落下するなどの危険があり、周囲の人に致命的な怪我を負わせたり、装置を損傷する恐れがあります。



禁止

オートバイや自転車など、乗用車以外の駐車利用は禁止です。



警告

危険物・爆発物等の持込み禁止

装置の火災や爆発など、思わぬ事故の原因となります。



禁止

クルマの内外を問わず危険物の持込みは絶対に禁止です。



注意

倉庫や物置代わりの利用禁止

装置の動作中に、物が挟まったり巻き込まれたり、転落するなど周囲の人に怪我を負わせたり、装置を損傷する危険があります。



禁止

物を置いたりするなど、駐車以外の目的には使わないでください。



注意

積雪時の対応

雪や氷のために人が滑って怪我をしたり、クルマが滑り落ちるなどの危険があります。



強制・禁止

積雪時は装置の使用をおやめください。

万一、使用される場合には、パレットや装置の周りの雪を取り除いた後で操作してください。もし、操作中に異常が見られたら、すぐに非常停止してください。

装置が凍結して動作しないような場合には、お客様センターに連絡し、指示に従ってください。

注意

パレットの中央にまっすぐ駐車

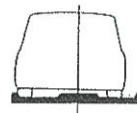
片側に寄りすぎたり斜めになったままの駐車は、装置が昇降する時の左右のバランスに影響を与え、事故や故障の原因となり危険です。



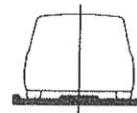
強制・禁止

タイヤのはみ出しや乗り上げたままでの駐車は禁止です。

片側に寄ったり斜めの状態での駐車は、ドアの開閉や乗り降りにも影響を与えますので正しい位置に入れ直してください。



X



O

注意

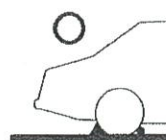
車止めに当てて止める

クルマの後輪を車止めに当てないで止めると、クルマの前端がパレットからはみ出した状態となり、クルマが転落したり装置に接触したりする恐れがあります。

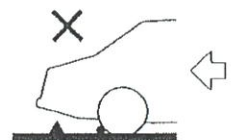


強制・禁止

後輪が車止めに当たったことを確認してから停車してください。



O



X

注意	小刻みなボタン操作の禁止
短時間（2秒以内）に小刻みな操作ボタンの入り切りを繰り返すと、装置の故障の原因になることがあります。	



禁止

モータに大きな駆動電流が繰り返し流れて過熱したり、ブレーカー遮断などの原因となります。

ブレーカーが遮断すると復帰するまで装置は動かなくなります。

注意	ボディーカバーの使用禁止
クルマから外れて装置に巻き込まれ、思わぬ事故や装置のトラブルの原因となる恐れがあります。	



禁止

ボディーカバーは、使用しないでください

注意	タイヤチェーンなどは使用しない
パレットに傷や錆が発生したり、騒音の原因にもなります。	



禁止

タイヤチェーンやスパイクタイヤを装着したままで、駐車しないでください。

注意	パレットの清掃
装置に落葉やビニールなどのゴミが挟まって誤動作するなど、装置の不具合の原因になることがあります。 また、パレットにこぼれた薬液などの液体や異物を放置すると、錆の発生やスリップの原因になります。	



強制・禁止

落葉やビニール袋など、パレット上のゴミは早めに除去してください。パレット上の不凍液やエンジンオイルなどの汚れも、早めに拭きとってください。

ただし、ピット内に入っての清掃は絶対におやめください。

3 装置の構造

構造と動作のあらまし

装置は、クルマを収納する上段パレット、下段パレット（昇降パレット）及び中段パレット（横行パレット）と、これらを支える支柱や横梁などの構造物、パレットを動作させる電気部品などで構成されます。

上段パレット及び下段パレットは地上面まで上下に昇降し、中段パレットは地上面を横方向に動きます。

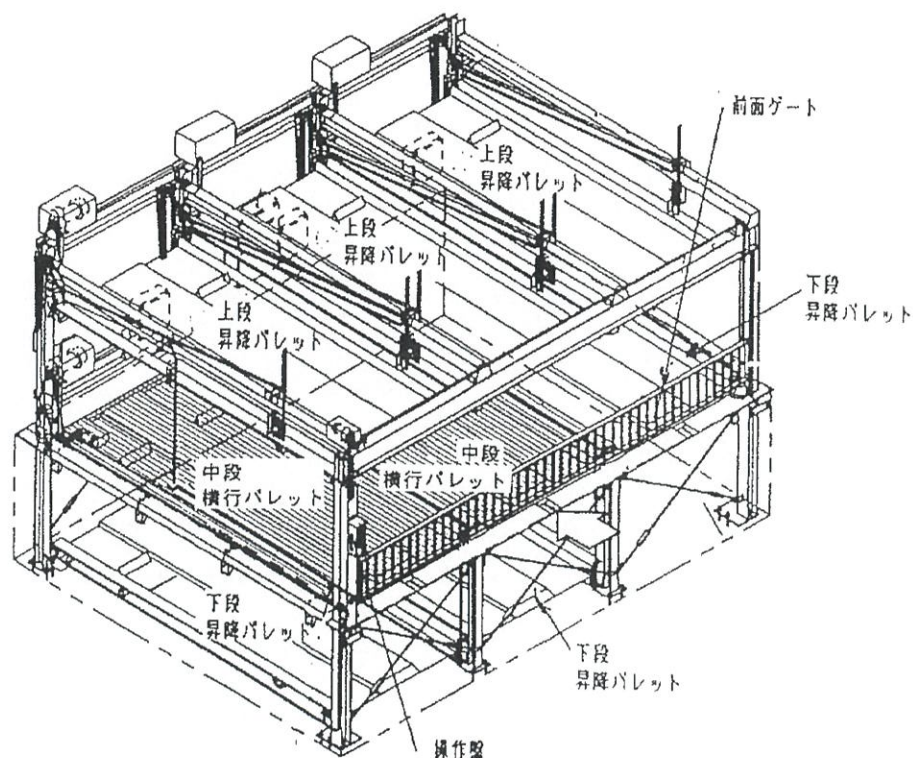
中段パレットには、パレットを横行させるためにひとつの空きスペースが取っており、このスペースを利用してパレットを横行及び昇降させて、上段パレット及び下段パレットを地上面に呼び出します。

入出庫するパレットが地上面にある場合はそのまま入出庫が出来ますが、上段又は下段にある場合には、操作盤の取り出しボタンを押すと、自動的に他のパレットが横行・昇降を行い、目的のパレットが地上面に降りてきて入出庫が可能となります。

前面ゲートは安全のために常時閉じた状態（下限位置）になっており、入出庫のためのパレットの一連の動作が終了するとゲートが開きます。

15

装置構造図 （図は3連基の場合を示します）



4 運転操作方法

◆運転操作方法是、操作盤による操作手順を示してあります。
装置をご使用になるに当たっての注意事項などは、第2章“安全にお使いいただくために”をよくお読みください。

4-1 運転操作時の注意事項

危険

- 装置内に人が居ないことを確認してから操作してください。
- 操作中は装置の動きに注意し、操作盤から離れないでください。
- 操作中に異音や振動などの異常や、緊急事態がおきたときは、すぐに非常停止ボタンを押して動作を止めてください。
- 運転操作方法を十分に理解された運転者ご自身で操作してください。
危険の判断が出来ないお子さんには絶対に装置を操作させないでください。

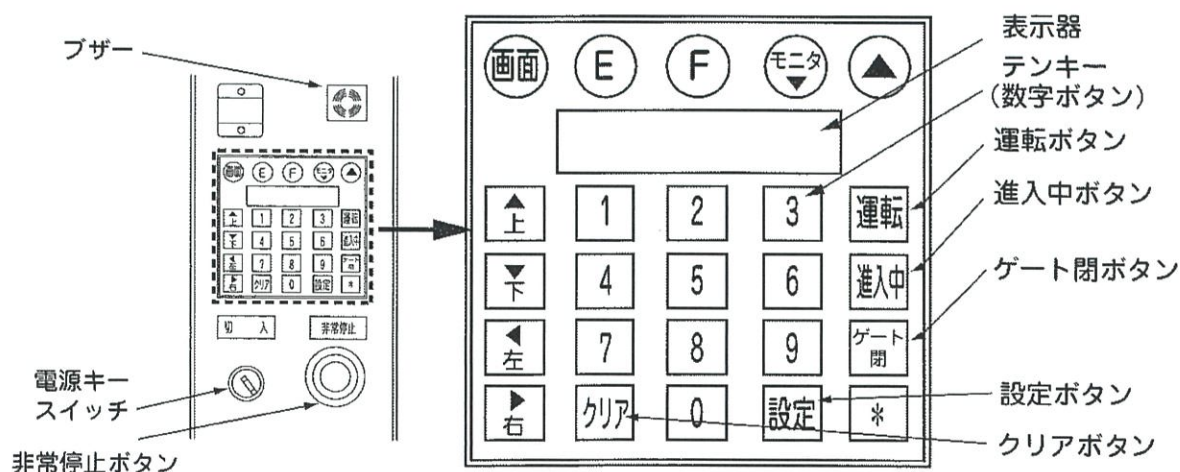
警告

- 装置の間近に人が居るときは操作はしないでください。
- 装置の中に入る時は必ず進入中ボタンを押してからお入りください。
- 安全ゲートの動作中は中に入らないでください。

注意

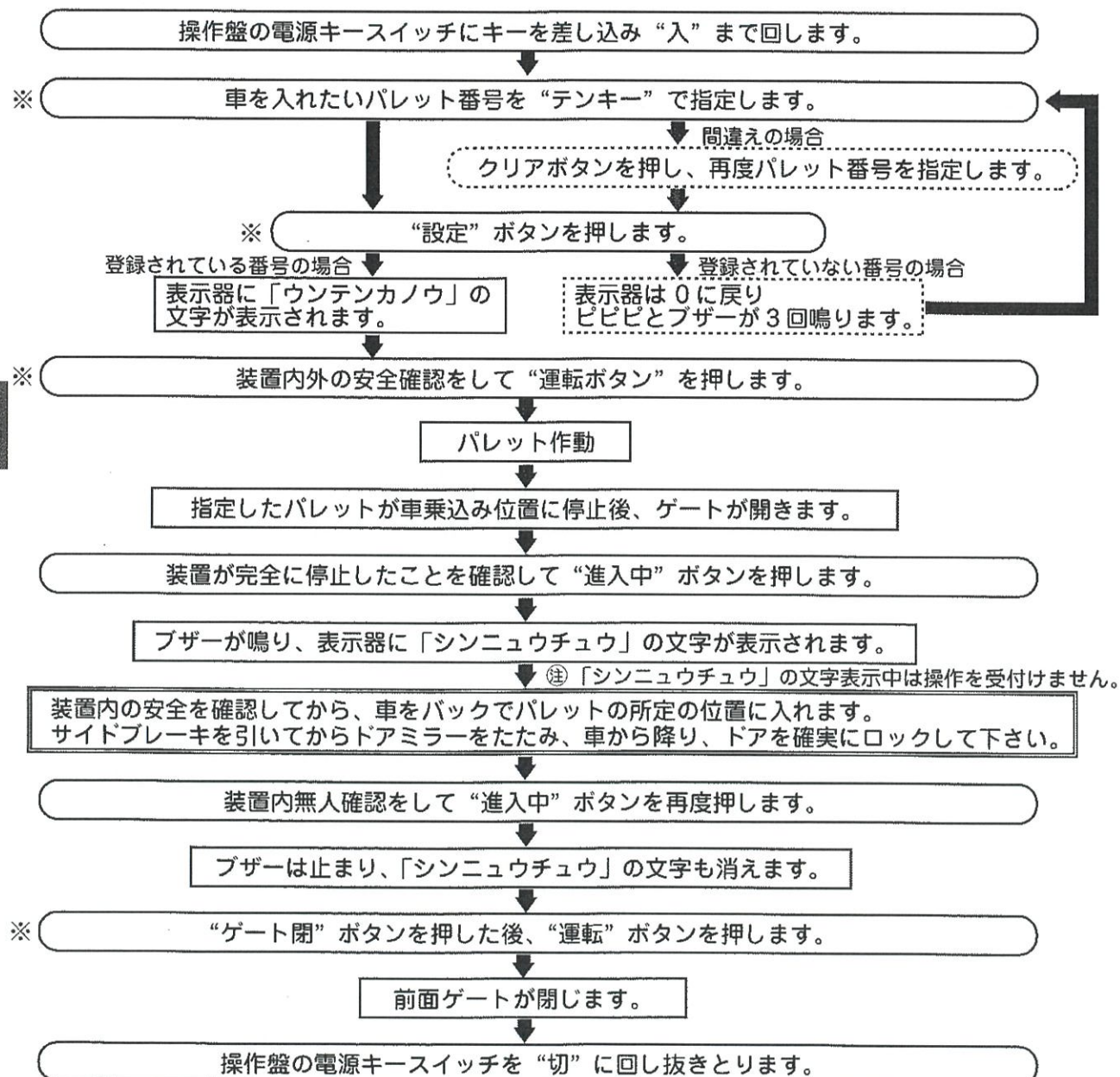
- パレットの昇降など装置が動作中は、お子さんなどが装置に近づかないように周辺に注意しながら操作してください。
- ゲートが下限（地上面）の定位置にある事を確認してください。

4-2 運転操作手順

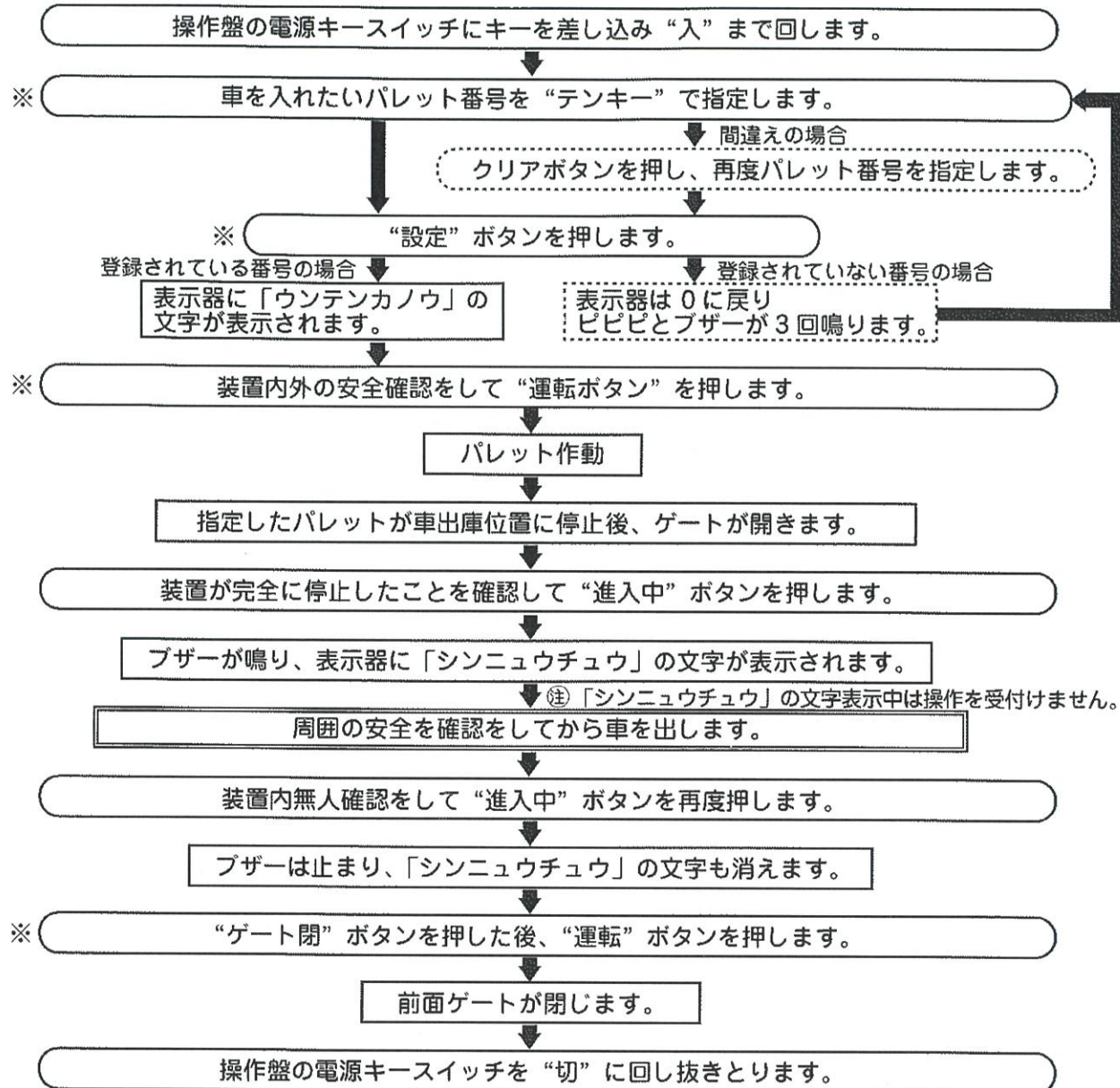


- ① 電源キースイッチを“入”にしないと、テンキーを押してもパレットは動きません。
 ② 上記に記載のスイッチ及びボタン以外は通常操作では使用できませんので触れないでください。

A. パレットに車を入庫する場合 (○ 操作手順、□ 車の運転手順、□ 装置の状態)



B. パレットから車を出庫する場合 (〇 操作手順、□ 車の運転手順、□ 装置の状態)



⑨ A, Bの場合とも、光電管をさえぎっている場合、ゲートが完全に閉じていない場合、「シンニュウチュウ」の文字表示中、装置動作中及び定位置外ではキーを“切”にできません。

C. 非常停止時の操作方法

非常停止ボタンは、装置運転中の異常や、事故等の発生を未然に防ぐ目的で使用するボタンです。ボタンを押すと装置はただちに停止します。異常の原因が明らかで、原因が解決したときは以下の操作で復帰してください。

●装置を運転すると危険だと思われる場合には、東急パーキングお客様センターにご相談ください。

① 前面のゲートが閉じている場合には、目的のパレット番号を再設定し“運転”ボタンを押してください。

② ゲートが開いている場合は、“ゲート閉”ボタンを押してゲートを閉位置にしてからパレット番号を再設定し、“運転”ボタンを押してください。

⑨ 非常停止させたときに、もし異常が発生した場合には、再設定できなくなります。東急パーキングお客様センターに連絡してください。

5 保守点検

保守点検

この装置を安全に、そしていつも快適にお使いいただくために、決められた保守点検（定期的な点検、調整、給油、修理、等）や、部品交換、塗装の補修、ピット内部の清掃、等を実施するために、必ず保守契約を結んでいただくことをお願いしています。



警告

：利用者による修理・点検はきけんです。装置が異常な動作をしたり、致命的な怪我に結びつくおそれがあります。

保守契約

保守契約の概要は次の通りです。

- (1) 東急車輛製造(株)と保守契約をして頂きます。
- (2) 定期的な装置の保守点検等を、東急パーキングシステムズ(株)またはその指定会社が責任をもって行います。

東急車輛製造(株)及び同社が指定するメンテナンス会社と保守契約を結んでいただけない場合には、当社で責任を負うことは出来ません。

- (3) 保守点検の項目は契約の内容により異なります。ただし、
 - 装置が設置された地域や環境の特殊性による特別のもの
 - 天災や災害等に起因する保守点検
 - ご利用者の取扱不良に起因する保守点検については、契約に含まず別途有償となります。

これらの保守契約ならびに保守点検項目等の詳細については、東急パーキングシステムズ(株)にお問い合わせください。

《ご自分でできる日常の手入れ》

装置をいつまでも丈夫で長持ちさせるには、保守契約をして頂くとともに、ご自分でできる日常の清掃などをお願いいたします。

○クルマの乗入れ部の清掃

落葉やビニール袋などのゴミや空缶は取り除いてください。

パレットにこぼれたエンジンオイルなどの汚れもふき取ってください。

ただし、ピット内に入っの清掃は絶対におやめください。

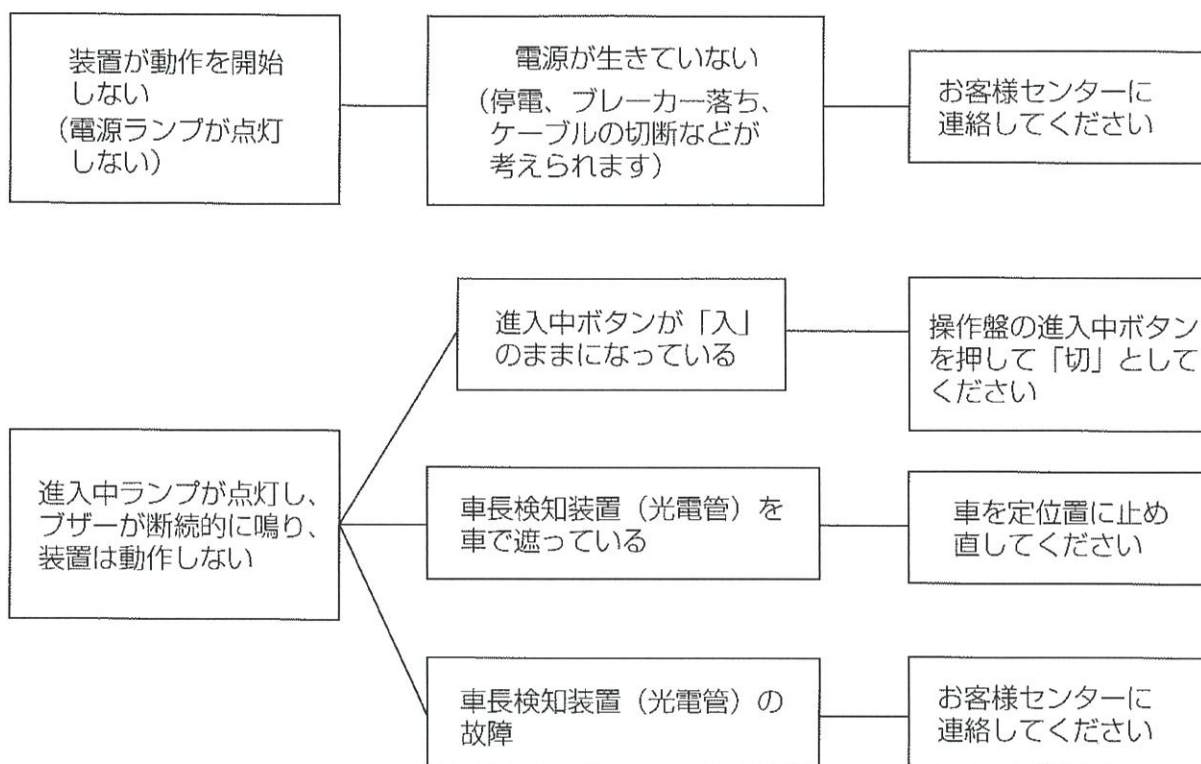
6 トラブル時の対応

この装置を操作する時に、発生することが考えられるトラブル事象とその原因及びその時の対処方法を示します。

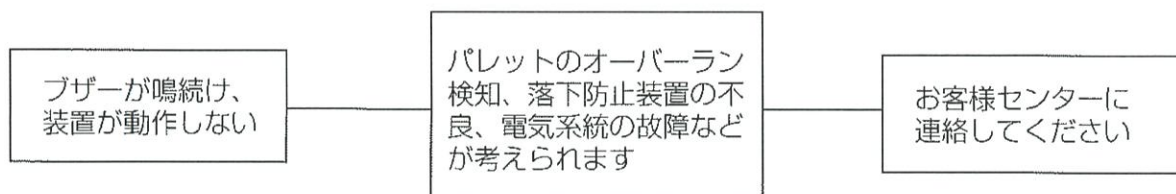
⚠警告 : 利用者による修理・点検は危険です。

〈トラブル事象〉	〈原 因〉	〈対処方法〉
----------	-------	--------

1 電源スイッチを入とすると



2 操作盤の操作ボタンを押すと

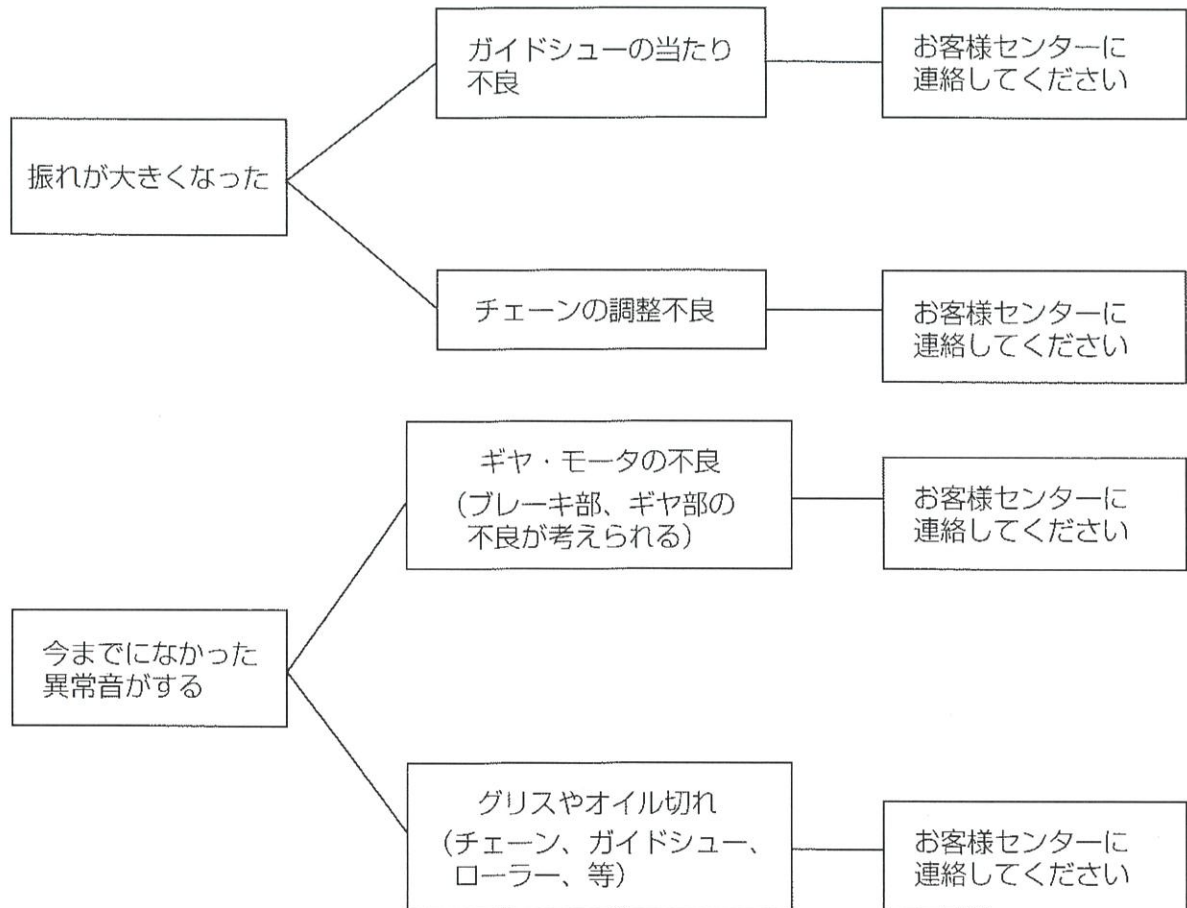


〈トラブル事象〉

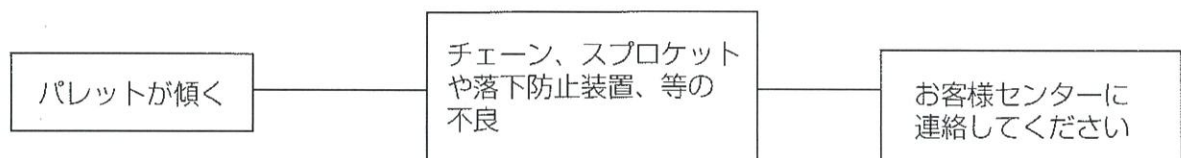
〈原因〉

〈対処方法〉

3 昇降・横行時に



4 昇降時や停止時に



駐車装置を使用中に発生した故障などのトラブル時は、
下記の東急パーキングお客様センターまでご連絡ください。
お客様センターは全国共通のフリーコールです。

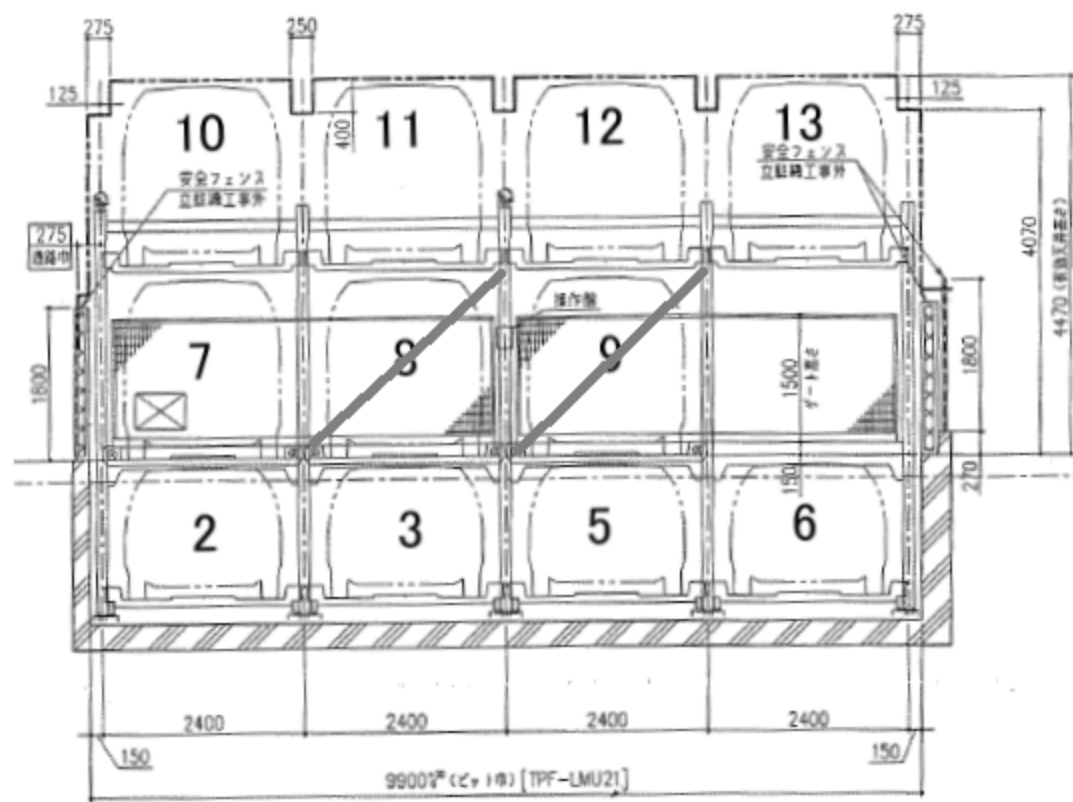
(フリーコール)

トーキョーパーク

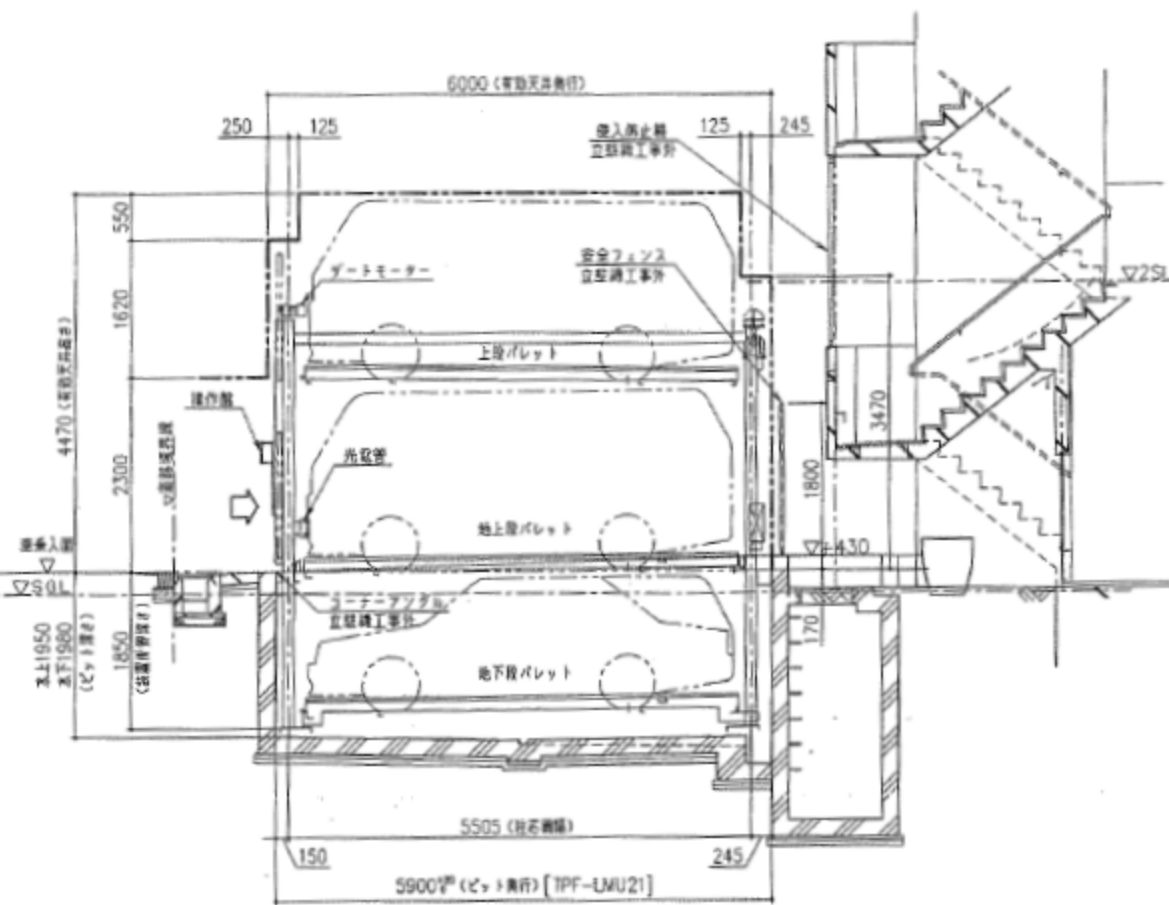
0077-78-1098

※ 365日、24時間体制で対応します。通話料は無料です。

【注】旧式公衆電話(赤、ピンク)やPHSなどでは使用できない場合があります。



正面図



側面図